



7月25日早朝からの記録的な大雨により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害に遭われたすべての皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

また、現在も被災地支援や復旧作業に尽力されている方々、自ら被災しているにもかかわらず医療現場で奮闘している看護職の方々に敬意を表し、感謝申し上げます。

山形県看護連盟では、7月22日に石田まさひろ議員と庄内最上支部の6施設を訪問した直後だけに大変驚き、災害発生以降、信夫庄内最上支部長や山形県看護協会と連携し、被災状況の把握に努めております。

会員の皆様に被災情報を『号外』でお届けいたします。 <山形県看護連盟会長 高橋啓子>

施設の被害について

- ・1階の外來浸水 1施設
 - ・駐車場浸水 数施設
 - ・停電（長時間は無し）
- ⇒自家発電対応 数施設

被災地の19施設の看護管理者様からの情報(抜粋)

患者対応について

- ・酸素ボンベが届かなかった。
- ⇒県を通じて、近隣の病院に患者の転院をお願いした。
- ・透析予定の患者が避難、道路の寸断で迎えに行けず。
- ⇒県に相談 ⇒自衛隊が患者の送迎をしてくださった。
- ・透析患者が帰宅困難
- ⇒空床を利用して対応した。
- ・避難所に避難した患者が薬を持参できず、クリニックが薬処方に追われた。また、自衛隊に届けてもらった地区もあった。
- ・在宅見取り予定者が避難所に避難
- ⇒入院の対応をして看取った。
- ・近くの介護施設・グループホームが浸水した。
- ⇒入所者・職員を院内に避難させた。

看護職員の状況について

- ・帰宅困難者 多数 ⇒院内宿泊、ホテル宿泊
- ・出勤困難者 多数 ⇒勤務調整に追われた。
- ・自宅の浸水者 多数 ⇒避難所避難者 多数
- ・自家用車の浸水破損 実数把握できず。
- ・自宅の浸水により避難所生活にも拘わらず出勤した者、道路の寸断により迂回して3時間かけて出勤した者もいる。また、保育園・学校の休業のため休暇をとる者や現在は通常に戻りつつあるが片付けのため休暇をとる者もいる。

戸沢村の最上川氾濫



「道の駅」



山形県看護連盟としての取り組み

- 7月25日：朝・・・信夫支部長とラインで情報交換（施設の状況、地区の被災状況、支援等）
- 7月26日：朝・・・会員施設の看護管理者とメールでの情報交換
- 夕・・・会員施設の看護管理者にメールでお見舞いと被災状況の情報提供を依頼
- 7月27日：朝・・・会長に信夫支部長より被災状況の情報提供あり、三役・顧問で共有する
- 7月28日：朝・・・会長に信夫支部長より最上地域の被災状況がつかめないとラインあり。
- 11時・・・三役が集合：今後の対応を検討：会長と若月看護協会長が情報交換
- 7月29日：午後・・・会長：日本看護連盟会長へ被災状況の報告：非会員施設へTEL 被災状況の把握

☆石田まさひろ議員より、22日の訪問施設の看護管理者にTELをしたとの連絡有り

7月30日：午前・・・若月会長より、協会で得た被災状況の情報提供あり

午後・・・幹事長：最上地区の非会員施設へ TEL 被災状況の把握

7月31日：午後・・・当連盟が得た情報を、山形県看護協会と共有 「号外」発行準備

被災看護師から提供の写真



「現場からの声」

★豪雨被害を受けて連盟支部長として何をするか・・・順仁堂遊佐病院看護部長 信夫 松子

私は県看護連盟庄内最上支部長として、すぐに各施設の連絡員を通し災害状況や問題点を把握し県看護連盟に発信しました。県看護協会とも情報共有し人員確保など困っている施設へ看護職の派遣等早急に検討していただきたくお願いしました。看護管理者として、それぞれの施設が災害で大変な中、病院のことだけでなく被災された職員、家族のことも考え、また避難所の住民の暮らしを気遣い避難所に足を運び健康観察を行うなど看護力、使命感の強さを改めて実感しました。自ら被災しながらも看護業務に当たっている方、被災されている方に代わり業務されている方に敬意を表します。災害の3日前に石田まさひろ参議院議員に同行し、庄内最上地区6箇所の病院を訪問しました。石田議員からは災害直後に直接病院にお見舞いの電話を頂きました。とても心強かったです。

災害時は、自分だけで頑張るのではなく誰かの力を借りる、問題をどこに発信するか、動けるところにしっかりと声を届ける。市町村、県、国まで現場の声を・・・。

支部長として現場の皆さまの安全・安心した医療の提供を施策として実現できるようにこれからも努めて参ります。

★「石田まさひろ議員」からの電話を受けて・・・町立真室川病院総看護師長 土田久美子

26日の午前、石田議員より電話を頂いた。はじめは、小さい病院だから心配して電話をいただいたと思った。しかし「大丈夫ですか。被災状況は。困ってることはないですか。私にできることは何でもします。」と何度も繰り返され、後ろから肩をたたかれ声をかけられたみたいで、とても心強かったしありがたかった。

職員に石田議員から電話があったことを伝え、「頑張ろう!!」と声を掛け合った。

◎この度の記録的な大雨による山形県内の被害は、1週間が経過しても全容がまだ見えない状況です
号外で取り上げたことは一部であり、もっともっと多くの大変なことがあったと思います。
被災された方の一日も早い日常生活への復旧を願っております。